

PART 4 内房テナガエビ釣査にGO!! [5月29日大潮] by IC

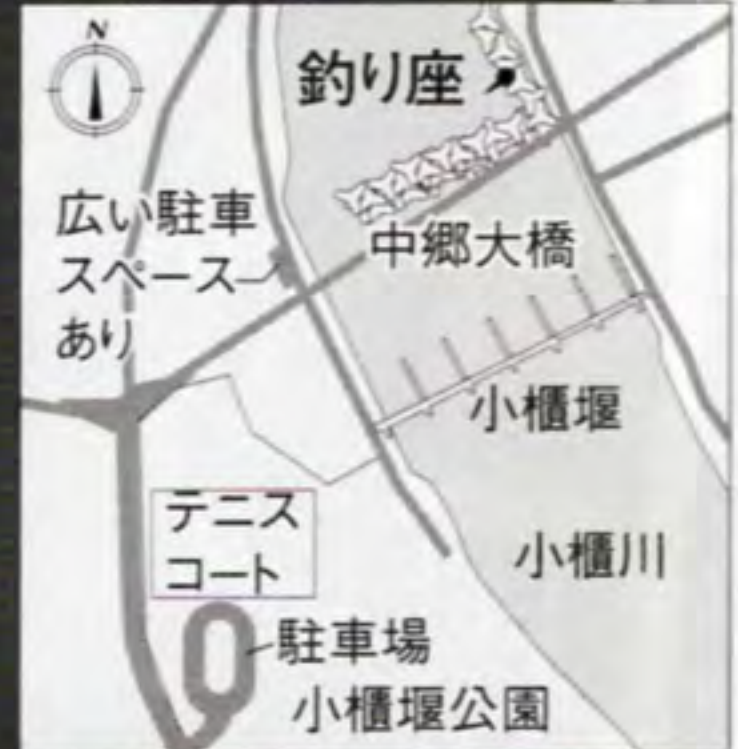


タマヅメに辿り着いたのは小櫃堰の下流(車は小櫃堰公園の駐車場へ。対岸にも駐車スペースがある)。北側は護岸のテトラの間にヘラ台のような物が設置され、竿が出しやすかった。が、釣れたのはブルーギル……。はて?



そろそろテナガの季節♪~なんだけど、そういえば聞いたことがない「内房のテナガエビ」を釣査する(with K/イラストレーターの川島星河さん)。勝山港で所用を済ませ、情報を入手するべく、北見釣具店さんへ。ご主人&愛犬のユーロ君から「富津の池で釣れたっていう話は聞いたことあるよ」とのこと。出鼻をくじかれつつ、アオリイカについても聞いてみると、「明鐘岬の北側に行ってみるといいよ」とアドバイスをいただき、北上する。しかし、お目当ての場所にはベテランアングラがいたのではばらく様子を見ていたが、ノーヒット。その後入釣するもイカはおらず、チョイ投げで小サバ(エサはチロリ!!)、スプーンでアナハゼ……。

富津に向かいながら、めばしい川を覗いたり、大貴城址跡に惹かれたりしつつ、池に到着。ところが「釣り禁止」の4文字が……。どうやら昔は釣りOKだったらしい。遅いランチで鋭気を養いつつ、「もう内房とか言ってもらえん!」と、小櫃川へ。堰の下流北側で竿を出してみるも姿は見えず。周辺のエビ情報に詳しい「キャストイング市原16号店」さんに何うと堰の下流が実績場とのこと。??? 詳しくはお店で!



左)GNP以外は何かないのかと穴を探り続けていたところ、ひょっこり顔を出した小メバル。夜はメバリングのポイントとしても知られており、良型も穴の中にひそんでいるのやも?
中)中の島大橋の橋脚周りをチョイ投げで探っていると釣れたかわいいイシモチ。もう少し大きいサイズがいるとうれしいのだが……
右)頻りに掛かったスジハゼ。小型のハゼは非常に多かった



中の島大橋は恋が叶うという伝説があり、恋人の聖地として人気の場所。このすぐ裏手がGNP畑なので、カップルの視線は常

バルやアイナメといった根魚が住み着いているという。そしてギンポの釣果情報も上がっており、これは期待できそうな気配だ。現地に到着して護岸を見てみると、矢那川に面した周辺は石の間が詰まっており、探れるような穴がほとんどない。これはどうしたものかと中の島大橋のほうへ向かうと、こちらの護岸の石積みは崩れて隙間があり、水没しているエリアにも香ばしい穴がたくさん見受けられる。ここならいるにちがいないと確信し、ブラーにアオイソメを付けて落とし込んでみた。一投目、ゴンゴン、にゅるるるんっ!いきなり飛び出したのは、30cmの大型GNP!これは巣窟か?と続いて探ると、穴という穴から出るわ出るわのGNP!一時間ほど釣っては放しを繰り返したが、余裕でツ抜けするほど魚影が濃かった。しか

もみなサイズがよく、そして太ましい!あまりのすさまじさに短時間で満足してしまい、ここからはGNP以外の魚を狙ってみることに。細めのアオイソメで引き続き穴を探っていると、今度は小メバルが出てきた。日中は穴の中に隠れているらしく、夜はメバリングが楽しいかもしれない。次にチョイ投げで周囲を探ると、中の島大橋の橋脚付近でミニイシモチやスジハゼ、アカオビシマハゼなどがちよいちよい遊んでくれた。シロギスは残念ながら出なかったが、時期やタイミングを選べば釣れそうな気配だった。

釣査の結果、ここはGNPの超優良釣り場に間違いなし。ただし釣れる範囲が狭いので、必要以上のお持ち帰りは資源保護のために控えたい。また、ここは恋人の聖地として知られており、ひっきりなしに幸せそうなカップルが訪れる。釣りをしていると高確率で声をかけられるので、面倒なときはヌルツヌルのGNPをぶら下げ、「これ美味しいんだよ!食べりゅ?」と不気味な笑顔を見せると去ってくれる。参考まで。